

令和6年度 事業報告

【事業報告の概要】

近年、地域社会が抱える福祉・生活課題は、人口減少、少子高齢化、社会的孤立や貧困、地域における関係性の希薄化など多様化・複雑化しています。このような中、令和6年度は地域福祉の“羅針盤”となる「第5次地域福祉活動計画」、「安定した法人運営」のレシピでもある「第4次中期経営計画」(計画期間:令和6年度～令和10年度)の実施初年度を迎える重要な年となりました。

この計画のもと、20 地区社会福祉推進協議会、行政、関係機関・団体の皆様と連携を密にし、「あんしん見守りネットワーク」や「生活支援体制整備事業(支え合いの会)」等の地域福祉活動を推進し、すべての人が活躍する地域づくり、大垣市に暮らして良かったと実感できる地域共生社会の実現にむけて、様々な事業に取り組みました。その一つとして、子どもと大人が共に学び、共に育つことができる福祉共育(ともいく)に着手し、「おとなの学校・こどもの学校」の開講や「子ども福祉委員」の委嘱を実施しました。

また、生活困窮者の孤独死や自殺、ひきこもりなどの社会的孤立の問題、子どもの貧困問題などに関しては、市民の皆様から提供された食料品等を配布提供する、「みんなで支え合いバンク」やファンドレイジングで集まったご寄付を浄財とした「ひとり親家庭子育て応援事業」などを実施し支援の充実を図りました。また、生活困窮者等自立相談支援事業、日常生活自立支援事業、障がい者生活及び就労支援センター事業などの支援事業に加え、地域住民の方々の相談窓口としてコミュニティソーシャルワーカー(CSW)[※]を配置し、個別支援・自立支援活動を積極的に取り組み、相談に対応する体制整備を進めました。

令和6年は、地震や水害など自然災害の多い年でしたが、能登半島地震の被災地支援として、石川県珠洲市社会福祉協議会に本会から7名の職員を派遣し、災害ボランティアセンター、地域支え合いセンター等の業務にあたりました。大垣市におきましても、台風10号の影響により大きな被害がありました。地域防災力の向上、地域のつながり、地域の絆の大切さを実感し、災害時に誰一人取り残されないような取り組みとして、本会独自の災害ボランティアセンター立上げ訓練も実施いたしました。

介護保険法や障害者総合支援法関連の諸サービスについては、質の高い顧客満足度の高いサービス提供を目指したほか、安定した財源基盤の構築を図りました。その財源を有効に活用し、制度で対応しにくいニーズに応える福祉サービス・活動への積極的展開を図り、地域社会における本会の公益性や非営利性を追求しました。

本会は、令和7年に法人化50周年を迎えます。その記念すべき年に足跡を残し、更なる飛躍をめざすために、職員で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、市民の皆様と共に、50周年を味わえる事業の企画を進めました。

一人ひとりが自らの力で解決する自助の力と、互いに助け合う互助の力、そしてそれらを支える共助・公助の力、その力の一つひとつを結ぶ架け橋を目指し、積極的に事業を遂行しました。

※コミュニティソーシャルワーカー(CSW)

地域住民の相談に対応したり地域活動を支援する中から地域課題を把握し、住民の方と共有し、住民が主体となって解決に向けた取り組みを行うもので、個別支援と地域支援を一体的に進めていく者。

【使命・経営理念への取り組み】

誰もが安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを推進することを使命とし、この使命を達成するために、6つの理念に基づき組織運営を展開しました。

- (1) 住民参加・協働による福祉社会の実現を図りました。
- (2) 地域における利用者本位の福祉サービスの実現を図りました。
- (3) 地域に根ざした総合的・包括的な支援体制の実現を図りました。
- (4) 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取組への挑戦を図りました。
- (5) 地域課題の解決に向けた公益的取組の実践を図りました。
- (6) 持続可能で責任ある自律した組織運営を図りました。

【重点目標への取り組み】

「使命・経営理念」の実現に向けて、6つの重点目標を掲げ組織運営を展開しました。

- (1) 社協基盤の強化の推進を図り、安定した財政基盤の確立に努めました。
- (2) 福祉のまちづくりの推進を図り、地域福祉活動の活性化に努めました。
- (3) ボランティア・市民活動の推進を図り、ボランティアセンター機能の充実に努めました。
- (4) 福祉共育、啓発・交流の推進を図り、ともに生きる地域社会の実現に努めました。
- (5) 情報提供・相談体制、福祉課題の把握の推進を図り、総合的な相談体制の充実に努めました。
- (6) 在宅福祉サービスの推進を図り、質の高いサービスの提供に努めました。

大垣市社会福祉協議会のSDGs宣言 10の目指すゴール



1 総務部会

(1) 組織機能

ア 理事会、評議員会、専門部会の活性化

法人組織体制の強化を図るため、理事会、評議員会、専門部会、特別委員会(訪問看護ステーション運営委員会)等を開催しました。

【理事会、評議員会、法人内監査、評議員選任・解任委員会】

名 称	日 付	主 な 内 容
理事会	5月29日(水)	1. 令和5年度 事業報告の承認について 2. 令和5年度 収支決算の承認について 3. 評議員候補者の推薦について 4. 役員候補者の推薦について 5. 定款の一部変更について 6. 令和7年度 共同募金配分事業の申請について 7. 令和6年度 定時評議員会の招集について 8. 会長及び常務理事の職務執行状況について
	1月31日(金) (決議の省略)	1. 評議員選任・解任委員の選任について 2. 福祉の館デイサービス青野の事業廃止について
	3月12日(水)	1. 令和6年度 第1次収支補正予算について 2. 令和7年度 事業計画について 3. 令和7年度 収支予算について 4. 就業規則の一部改正について 5. 賃金規程の一部改正について 6. 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 7. 経理規程の一部改正について 8. 役員等賠償責任保険契約について 9. 令和6年度 第2回評議員会の招集について 10. 会長及び常務理事の職務執行状況について
評議員会	6月24日(月)	1. 令和5年度 事業報告の承認について 2. 令和5年度 収支決算の承認について 3. 役員の選任について 4. 定款の一部変更について
	3月28日(金)	1. 令和6年度 第1次収支補正予算の承認について 2. 令和7年度 事業計画の承認について 3. 令和7年度 収支予算の承認について
法人内監査	5月16日(木)	1. 令和5年度事業報告、計算関係書類及び財産目録等の適正執行の承認について
評議員選任・ 解任委員会	6月7日(金) (決議の省略)	1. 評議員の選任について

【専門部会】

名 称	日 付	主 な 内 容
総務部会	5 月 22 日(水)	1. 令和5年度 事業報告について 2. 令和5年度 収支決算について
	2 月 14 日(金)	1. 令和6年度 決算見込(概要)について 2. 令和7年度 事業計画(案)及び収支予算(案)について 3. 法人化50周年記念事業について
地域部会	4 月 23 日(火)	1. 令和5年度 事業報告について
	1 月 28 日(火)	1. 令和7年度 部会事業計画及び予算(案)について 2. 法人化50周年記念事業について
ボランティア部会	5 月 9 日(木)	1. 令和5年度 事業報告について
	2 月 4 日(火)	1. 令和7年度 部会事業計画及び予算(案)について 2. 法人化50周年記念事業について
事業運営部会	4 月 30 日(火)	1. 令和5年度 事業報告について 2. 総合相談事例について
	1 月 30 日(木)	1. 令和7年度 部会事業計画及び予算(案)について 2. 法人化50周年記念事業について

【特別委員会(訪問看護ステーション運営委員会)】

名 称	日 付	主 な 内 容
訪問看護 運営委員会	6 月 19 日(水)	1. 職員体制・利用者状況について 2. 症例について
	2 月 18 日(火)	1. 職員体制・利用者状況について 2. 症例について

イ 正副会長会について

法人運営の重要事項や業務執行等について、必要に応じて正副会長会の調整を図りました。

ウ コンプライアンス管理体制の強化

信頼性の高い経営を目指すため、介護サービス事業所において法令等遵守に基づいた利用者への権利擁護に関するマニュアルの見直しを行い、不祥事の未然防止策を講じました。

エ リスク管理体制の強化

(ア) 事故報告書、ヒヤリハット、ほうれんそうカードの実施

発生後早期にリスク把握や分析を踏まえた検証を行い、今後の事故、苦情の未然防止、再発防止に努めました。

事故件数 利用者支援に関すること 43 件、車両事故に関すること 16 件、その他 7 件
ヒヤリハット 9 件、ほうれんそうカード 2 件

(イ) 非常参集訓練の実施

継続計画（BCP）に基づく初動対応の遂行を確認し今後の災害対応に生かすことを目的とし、3 月 13 日(木)に地震が発生したことを想定した非常参集訓練を実施しました。

オ 苦情解決管理体制の強化

苦情解決に関する規定に基づき、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設置し苦情対応体制を図りました。

苦情件数 7 件

カ 社会福祉法人地域公益実践推進事業

社会福祉法人の責務として「地域における公益的な取組」の推進を図るため、地域課題の解決策の一助となるよう「大垣市社会福祉法人連携協議会」の事務局機能を担い、加盟法人との連携・協働、情報を共有し、新たな取り組みや仕組みの構築を図りました。

(ア) 総会・研修会 7月 9 日(火)

(イ) 交流研修会 1 月 17 日(金)

海津市社会福祉法人連絡会

海津市子ども未来館 ZuTTTo(ずっと)

(ウ) フードサポートボックス事業

協力法人: 8 月⇒3 法人 食料寄付数: 計 176 個

(エ) フードパントリー設置事業 12 月 21 日(土)

協力法人: 5 法人 食料寄付数: 計 719 個

また、法人連携協議会で食料品を購入し配布しました。

キ 職員育成の充実

職員の資質向上を目的に、法人内研修を実施しました。また、他機関が実施する外部研修にも計画的に職員を派遣しました。

(ア) 管理・監督者合同研修 総合福祉会館

1 月 22 日(水)13:30～15:30 カスタマーハラスメントについて

1 月 30 日(木)13:30～15:30 人事考課&フィードバック面接の進め方

講 師 (株)中部人材育成センター

伏屋社会保険労務士事務所 平下 和代氏

参加者 所属長・補佐・係長 26 人

(イ) 苦情解決研修会 総合福祉会館(オンライン開催)

12 月 4 日(水)13:30～15:30

クレームへの基本姿勢とカスタマーハラスメント対策について

講 師 (株)ツクイスタッフ 喜山 志津香氏

参加者 16 人

(ウ) 県社協主催 キャリアパス対応生涯研修課程 大垣市情報工房他

8 月 7 日(水)～ 8 日(木) 初任者職員コース 1 名

8 月 22 日(木)～23 日(金) 中堅職員コース 2 名

9 月 12 日(木)～13 日(金) 管理者コース 3 名

9 月 19 日(木)～20 日(金) チームリーダーコース 4 名

(エ) 実習生の受入れ

社会福祉の専門家(社会福祉士・介護福祉士)や看護師等をめざす学生に、人材育成の一環として実習の場を提供しました。また、西濃高等特別支援学校より現場実習の

受け入れを行いました。

ク 役員研修の実施

と き 2月21日(金)16:00～ ところ 総合福祉会館
参加者 役員等(地区社協会長及び連合自治会長)24名
内 容 a 講演1部「岐阜県内の地域支え合い活動の現状について」
講 師 岐阜県社会福祉協議会
総務企画部地域福祉・ボランティア担当 課長 土岐 篤芳氏
b 講演2部「小さな手助けの活動について」
講 師 岐阜市社会福祉協議会 芥見東支部
小さな手助け事務局長 松原 鈴枝氏

(2) 財政基盤

ア 住民会員、会費制度の充実

関係機関と連携し、魅力ある社協をめざし、社協活動の PR に努め、賛助会員への理解を求めるとともに、会員の確保を図りました。

	一般会員数(世帯)	特別会員(件)	賛助会員(件)	施設会員(件)
R06	48,685	2	275	75
R05	48,912	2	283	78

イ 積立金・基金の拡大及び運用

社協独自の自主財源を確保することを目的に、積立金・基金の確保や資金運用に努めました。

ウ 効果的な資金運用

資金運用について研究を深め、公益性のある法人として、ボランティア活動振興基金等の運用益を事業に運用しました。

エ 共同募金・歳末たすけあい運動の推進

共同募金会大垣市支会として、関係機関と連携し、共同募金・歳末たすけあい募金活動の推進を図りました。「戸別募金」「法人募金」「学校・職域募金」「街頭募金」やバッジ・図書カード・クオカードによる募金等を実施しました。また、被災地への義援金も実施しました。

(36 件 480,515 円)

新たな取組みとして、市内企業において対象商品の売り上げの一部を寄付していただく「募金百貨店プロジェクト」を実施しました。(17 店舗、90,683 円)

また、第1回共同募金チャリティゴルフ大会を12月15日(日)に関ヶ原カントリークラブにて開催しました。(124名参加、281,153円)

募金活動の計画的実施、募金の拡大を図ることを目的に、共同募金会大垣市支会理事会を開催しました。

【開催状況】

日 付	主 な 内 容
5 月 29 日(水)	1.令和 5 年度 事業報告及び決算について
3 月 12 日(水)	1.令和 7 年度 事業計画及び予算について

オ 新たな資金調達への取組み

地域福祉の推進、社会的課題の効率的な解決を目的とした寄附について、「地域支えあい寄付」「あいちゃん寄付」「ひろがる未来寄付」の三つのテーマに分類し PR を行いました。また、ファンドレイジング(資金調達)の推進を図るため、職員への意識づけとした研修会の開催や資金調達の取組みに対する具体策として、(株)ブックオフコーポレーションの「キモチと」や、(株)エンパワーの「買取大吉モノ募金」へ参加しました。

(3) 指定管理施設の運営管理

第 5 期(令和 6 年度～令和 10 年度)指定管理者として、総合福祉会館、かななみ作業所、老人福祉センター(大垣、上石津、墨俣)、デイサービスセンター(上石津、墨俣)の 7 施設における適正な管理・運営を図り、施設機能の住民理解をさらに深め、利用者ニーズの充足を第一としてサービスの提供を行いました。

(4) 広報活動の強化

ア 大垣市社会福祉大会

福祉功労者の表彰及び福祉講演により、福祉の啓発を図りました。

と き 8 月 10 日(土) 10:00～11:30

ところ 大垣市情報工房 5 階 スイंकホール

・表彰及び感謝状 77 個人 9 団体

(会長表彰:76 個人、会長感謝状:1 個人、9 団体)

・福祉標語の表彰 7 作品入賞

(応募総数:1,797 作品)

一般の部: 25 作品(内入選 1 作品)

小学生の部:1,221 作品(内入選 4 作品)

中学生の部: 551 作品(内入選 2 作品)

・記念講演 「学校に行けない僕たちの気持ち ～僕たちを支える地域の力～」

講 師 漫画家 棚園 正一 氏

イ 社協だよりの発行

社協事業について 1 人でも多くの市民に理解していただくため、市内全戸配布による「社協だよりの発行」を行いました。社協会費(4/15)、共同募金依頼(9/15)のため、企業等にも配布しました。

<年 6 回、4, 6, 7, 9, 12, 1月 15 日発行> 発行部数 約 57,000 部

社協だよりのアンケートモニターを募集し、市民からのご意見をいただきました。

・令和 6 年度アンケートモニター:5 名

ウ インターネット、ソーシャルメディアを活用した広報活動の充実

a ホームページ

市民に対してタイムリーな福祉情報の提供をめざして、随時ページの更新をしました。さらに、社協 NOW(ブログ)を活用して、市社協行事や地区社協活動等、さまざまな地域福祉活動を掲載しました。

・アクセス総件数:116,568 件(昨年度:119,501 件)

《ホームページ月別アクセス総件数》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
R06	9, 149	9, 127	7, 796	11, 132	13, 182	8, 902
R05	14, 020	9, 527	9, 963	9, 287	8, 145	7, 584
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
R06	11, 578	12, 684	12, 691	7, 323	5, 799	7, 205
R05	9, 776	10, 654	10, 068	9, 851	8, 050	12, 576

b インスタグラム

若年層や民間事業者等への情報発信及び連携を目的に、によるインスタグラムによる情報発信を行いました。

・年間投稿数 99 件 ・フォロワー数 957

c 社協情報誌の発行

「社協のあらまし・地区社協活動のてびき(概要版)」を作成し、自治会長・民生児童委・福祉推進委員(地区代表・副代表)等に配布しました。

エ 広告掲載事業

広告主となる企業等による地域貢献活動と、社協の地域福祉活動の財源確保を目的に、有料広告を掲載しました。

掲載料: 広報誌(1 区画 5,500 円/号)、ホームページ(1 区画 3,300 円/月)

掲載企業数: 7 社(広報誌 6 社、ホームページ 3 社)

(5) 介護・障がい福祉サービス事業等

ア 居宅介護支援事業

ケアマネジャー(介護支援専門員)が要介護認定を受けた方を対象に、本人やご家族の希望を取り入れ、利用者のニーズを意識した介護サービス計画を作成しました。

また、介護サービスがスムーズに実施されるよう、サービス実施機関等との連絡調整を行いました。

a 大垣居宅介護支援事業所

《計画作成件数(要支援)》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R06	69	68	69	68	68	77	76	75	74	75	73	80	872
R05	60	60	61	58	58	64	64	64	62	62	66	69	748

《計画作成件数(要介護)》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R06	224	226	222	219	222	218	214	209	206	205	200	195	2, 560
R05	224	226	223	222	216	211	217	218	223	219	216	219	2, 634

b 上石津居宅介護支援事業所

《計画作成件数(要支援)》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R06	32	32	34	36	40	43	45	47	47	43	41	39	479
R05	29	29	30	32	28	30	27	30	30	31	32	32	360

《計画作成件数(要介護)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	96	99	95	91	92	84	86	82	84	77	82	81	1,049
R05	100	107	104	98	99	98	99	102	104	102	94	99	1,206

イ 障がい者サービス 特定相談支援事業

障害福祉サービス等の利用を希望する障がい者(児)の、総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し「サービス等用計画」の作成、見直し等を行いました。

《計画作成件数(障がい者)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	28	23	27	27	37	24	28	23	20	26	36	27	326
R05	24	25	29	33	30	24	24	23	26	38	24	25	325

《計画作成件数(障がい児)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	1	2	2	2	1	2	2	1	2	1	2	1	19
R05	3	1	2	1	2	2	3	1	2	1	2	2	22

ウ 訪問介護事業

高齢者、障がい者の方に対し健全で安らかな在宅生活が継続できるよう、ホームヘルパーが日常生活の自立支援を行い良質なサービスの提供を図るとともに、様々な利用者ニーズに対応するため、サービス提供責任者による定期訪問や管理者を中心とした問題解決を行いました。

a ホームヘルパー室

《利用者数(総合事業)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	52	51	48	50	49	48	47	44	44	43	41	41	558
R05	64	68	69	68	66	69	63	66	63	56	53	51	756

《利用者数(要介護)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	67	69	69	63	61	58	54	51	48	48	45	43	676
R05	82	78	80	80	76	71	71	72	69	66	65	70	880

《延利用回数(要介護のみ)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	767	842	801	853	792	714	725	654	590	539	482	515	8,274
R05	937	919	886	814	820	839	850	801	856	765	782	848	10,117

b ホームヘルパー室(障がい)

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	56	55	56	57	56	54	51	53	54	52	51	50	645
R05	57	57	59	59	59	59	60	61	61	62	61	61	716

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	700	718	667	735	683	664	705	676	690	632	598	662	8,130
R05	719	719	749	733	758	704	727	733	733	643	685	704	8,607

エ 訪問看護事業

病気やけがにより在宅での療養が必要な方に対し、家庭や地域社会で安心して療養生活が送れるよう、主治医の指示のもと、医療処置及び医療機器(カテーテル、チューブ等)の管理、介護支援相談等、24時間緊急対応体制による訪問看護サービスを提供しました。また、医療的ケア児に対し、学校への訪問看護も提供し、日常生活での自立を目指し、理学療法士等によるリハビリテーションも実施しました。

《利用者数(介護保険)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	83	83	80	78	76	75	76	76	72	71	73	70	913
R05	87	84	82	79	80	82	84	86	81	85	84	86	1,000

《利用者数(医療)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	47	45	49	52	50	50	49	45	43	44	42	42	558
R05	47	50	45	48	50	49	46	48	49	48	49	51	580

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	1,090	1,076	995	1,145	1,143	996	1,082	1,003	947	889	844	890	12,100
R05	1,058	1,089	1,126	1,075	1,141	1,105	1,116	1,086	1,088	1,044	1,049	1,101	13,078

オ 通所介護事業

介護が必要な高齢の方に対し、日常生活支援に加え、仲間とふれあうことで社会的孤立感の解消や創作活動、機能訓練を通じた心身の機能の維持を図りました。利用者家族の介護負担の軽減を図ることを目的とし、質の高い通所介護サービスの提供を行いました。

a 上石津デイサービスセンター (指定管理施設)

《利用者数》【定員30名】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	65	65	67	64	59	58	60	62	60	59	60	58	737
R05	64	67	65	64	62	63	61	60	62	62	64	60	754

《稼働率》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	72.9	75.1	73.5	72.5	64.8	68.5	69.3	71.0	71.6	67.5	65.1	65.3	69.8
R05	73.1	78.3	80.3	77.3	65.7	76.2	75.1	72.1	73.3	69.9	73.9	71.3	73.9

b 墨俣デイサービスセンター (指定管理施設)

《利用者数》【定員25名】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	31	30	34	37	38	40	38	36	34	32	34	37	421
R05	37	38	39	37	36	36	35	33	35	34	33	34	427

《稼働率》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	50.2	50.5	52.2	51.9	55.7	60.0	55.4	53.0	49.4	50.1	51.6	52.9	52.7
R05	57.0	56.4	58.0	55.1	59.7	57.7	51.1	52.6	55.4	54.8	54.7	50.2	55.2

c 福祉の館 デイサービス青野（地域密着型）

12月までは週3日の営業を行い1月より休所とし3月末をもって閉所としました。

《利用者数》【定員10名】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	5	7	7	7	7	7	7	4	3				54
R05	9	8	8	8	6	4	4	6	7	6	6	5	77

《稼働率》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	37.7	42.3	44.6	46.9	45.7	46.9	44.6	18.4	17.6				38.3
R05	46.8	38.2	58.5	51.4	43.9	32.3	30.0	40.0	42.3	39.2	40.0	38.5	41.7

カ 障がい者サービス 生活介護事業・就労継続B型事業

かわなみ作業所運営事業（指定管理施設）

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業所として、生活介護事業及び就労継続支援B型事業の指定を受け、障がい者に生産活動等の機会を提供しました。

a 生活介護事業

生活介護事業において、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、身の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供等の支援を行いました。

《利用者数》【定員：65名】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	59	58	59	60	57	57	59	57	58	55	56	53	688
R05	58	59	57	58	58	60	59	59	59	58	59	61	705

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	1,168	1,153	1,127	1,216	1,021	1,020	1,186	1,056	942	925	895	998	12,707
R05	1,096	1,113	1,205	1,078	1,092	1,121	965	1,098	1,046	957	1,052	1,121	12,944

b 就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業において、就労に繋げるための生産活動を提供するとともに一般就労等に向けて知識、技術の向上が図れるよう支援を行いました。

《利用者数》【定員：35名】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	35	35	35	35	35	35	35	35	34	34	34	34	416
R05	34	34	34	34	34	34	34	34	33	34	33	35	407

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	695	696	665	735	623	624	696	644	596	586	563	623	7,746
R05	638	629	715	597	644	649	580	620	597	558	589	627	7,443

キ 障がい者サービス 共同生活援助(グループホーム)事業

かわなみホーム

かわなみ作業所のご利用者で、地域での共同生活を希望する方や、在宅生活が困難な方に対し、共同生活を営む住居(グループホーム)で、相談・入浴・排せつ及び食事介助等の支援を行いました。

《利用者数(入居)》【定員:18名】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	15	15	15	17	16	17	16	15	16	16	16	16	190
R05	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	15	16	193

《利用者数(体験)》【定員:1名】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	11	11	11	13	11	12	11	9	10	10	13	12	134
R05	8	8	8	11	10	12	7	9	8	8	7	10	106

《延利用回数(入居)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	365	351	356	385	346	345	369	346	320	330	321	348	4,182
R05	381	369	387	369	379	363	324	358	353	342	339	383	4,347

《延利用回数(体験)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	33	38	35	38	35	31	30	24	25	22	29	33	373
R05	32	33	36	31	34	34	26	28	30	30	31	34	379

ク 障がい者サービス 短期入所(ショートステイ)事業

かわなみホーム短期入所事業

居宅において介護を行っている方の病気、その他の理由により介護を行うことが困難な場合、また、ご本人の宿泊体験利用等を理由とし、短期間利用いただき、入浴・排泄及び食事介助等、日常生活上の必要な支援をホーム内に2部屋専用の部屋を設けて、運営を行いました。

《利用者数》【定員:2名】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	16	15	13	15	15	18	15	16	11	11	9	13	167
R05	14	16	16	15	14	12	13	15	14	12	13	16	170

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	59	62	59	66	60	56	65	54	45	53	41	53	673
R05	55	59	57	50	60	60	52	52	56	50	57	61	669

ケ 老人福祉センター運営事業 (指定管理施設)

地域の高齢者の方に対し、健康増進・入浴・教養の向上及びレクリエーション並びに各種相談の場として、総合的な利用を供与する目的で運営しました。

a 大垣市老人福祉センター

《開館日数及び利用者数》

	開館日	個人入館者	入浴者	団体入館者	趣味の教室	合計
R06	294	3,205	6,055	2,499	3,724	15,483
R05	294	2,793	5,970	3,042	3,552	15,357

b 大垣市上石津老人福祉センター

《開館日数及び利用者数》

	開館日	個人入館者	入浴者	団体入館者	趣味の教室	合計
R06	245	2,102	4,050	3,009	75	9,236
R05	245	1,656	3,922	2,917	69	8,564

c 大垣市墨俣老人福祉センター

《開館日数及び利用者数》

	開館日	個人入館者	入浴者	団体入館者	趣味の教室	合計
R06	244	1,539	1,104	512	2,949	6,104
R05	244	2,220	1,134	41	3,898	7,293

コ 総合福祉会館運営事業（指定管理施設）

大垣市総合福祉会館

広く市民の皆様の福祉活動の拠点として、また、福祉向上に寄与することを目的として総合福祉会館を運営しました。市民の福祉活動の拠点とし、市民の福祉向上に寄与することを目的に運営しました。

《利用件数等》

	開館日数	ホール	会議室等	視聴覚室	調理室	合計
R06	346	158	1,382	131	36	1,707
R05	360	187	1,456	108	24	1,775

《利用者数》

	ホール	会議室等	視聴覚室	調理室	合計
R06	4,798	19,789	628	477	25,692
R05	5,913	20,644	552	374	27,483

サ 福祉バス運営事業（市受託事業）

市内福祉団体等の社会参加活動支援を目的とし、福祉バスの利用運営を実施しました。

《利用件数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	0	3	4	3	3	3	7	9	3	1	2	1	39
R05	1	4	1	3	3	5	6	6	6	0	2	2	39

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R06	0	27	40	41	39	39	65	116	28	12	25	16	448
R05	8	46	10	25	33	52	66	60	59	0	16	30	405

2 地域部会事業

(1) 重層的な見守りネットワークの充実

(くらしを支える重層的な見守りネットワークの充実)

ア あんしん見守りネットワーク事業の推進

自治会を単位として自治会長、民生児童委員、福祉推進委員が連携をとり、誰もが孤立することなく安心して生活できるよう、見守り対象者への声かけ等を実施し、見守り活動を推進しながら、あんしん見守りネットワークの構築を図りました。

《あんしん見守りネットワーク状況報告》

地区名	自治会数	見守り対象者数	見守り会議実施数	地区名	自治会数	見守り対象者数	見守り会議実施数
興 文	54	190	5	江 東	19	139	4
東	28	247	14	川 並	10	74	2
西	29	255	19	中 川	19	271	19
南	28	210	15	和 合	8	106	6
北	55	379	47	三 城	37	278	13
日 新	16	139	5	荒 崎	12	212	7
安 井	21	208	8	赤 坂	22	276	22
宇留生	26	402	22	青 墓	13	151	11
静 里	14	198	13	上石津	40	735	21
綾 里	15	92	3	墨 俣	22	146	22
				合 計	488	4,708	278

イ 地域支援ネットワーク委員会及び小地域支援ネットワーク会議(自治会単位)の開催地域で支援を必要とする方が、地域から孤立することなく住み慣れた地域で安心して継続した生活を営むことができるような体制整備(地域支援ネットワーク委員会及び小地域支援ネットワーク会議の開催)を推進しました。

《地域支援ネットワーク委員会日程一覧》

地区名	開 催 日	地区名	開 催 日	地区名	開 催 日
安井	6 月 12 日(水)	中川	6 月 14 日(金)	赤坂	12 月 14 日(土)
	2 月 5 日(水)		2 月 26 日(水)	青墓	5 月 16 日(木)
宇留生	6 月 19 日(水)	三城	6 月 12 日(水)		上石津
	1 月 15 日(水)		11 月 27 日(水)	6 月 28 日(金)	
静里	4 月 22 日(月)	荒崎	6 月 26 日(水)	1 月 15 日(水)	
綾里	5 月 14 日(火)		1 月 22 日(水)		
	2 月 22 日(土)				

ウ 見守り関係事業所との協定事業

(ア) 市内の見守り関係事業所(新聞販売店、郵便局、金融機関、宅配業者等)と継続して見守り活動について連携を行い、見守り活動の強化と推進を図りました。

また、大垣警察署と見守り対象者を子どもに広げたK(子ども・高齢者)M(見守り)K(声かけ)協定の推進を行いました。

今年度は新たに2事業所と協定を締結しました。(合計71事業所)

新規事業者

- a マックスバリュ東海株式会社
- b 株式会社富士薬品岐阜営業所

相談件数

相談件数 21 件…新聞販売店・配食事業所等

(イ) 見守りに関する情報共有を目的に見守り関係事業所連絡会を開催しました。

実施日：3月6日(木)

内 容：見守り関係事業所との情報交換、実績報告

エ 緊急連絡のてびきの作成

ひとり暮らし高齢者等の緊急時（災害等）に備えて、「緊急連絡のてびき」を民生児童委員の協力を得て作成及び配付するとともに、緊急時の情報利用の効率化を図り、あんしん見守りネットワーク活動につなげるため、データベース化を図りました。

《緊急連絡のてびき作成数》

地区名	自治会数	てびき 対象者数	地区名	自治会数	てびき 対象者数
興 文	54	188	江 東	19	153
東	28	169	川 並	10	64
西	29	313	中 川	19	288
南	28	210	和 合	8	95
北	55	434	三 城	37	273
日 新	16	124	荒 崎	12	155
安 井	21	188	赤 坂	22	282
宇留生	26	219	青 墓	13	147
静 里	14	194	上石津	40	177
綾 里	15	51	墨 俣	22	106
			合 計	488	3,830

オ 食事サービス・高齢者を囲む会の推進

(ア) 各地区食事サービス・高齢者を囲む会の推進

a 食事サービス事業

ボランティアがお弁当を持ってひとり暮らし高齢者宅等を訪問し、配食サービスを通じた地域でのふれあい・見守り活動が実施されました。（各地区月1回～4回・昼食又は夕食）

対象高齢者：220 人（延べ利用者数：4,979 人）

ボランティア数：806 人

実施地区：14 地区 15 ヶ所（手作り 11 ヶ所、購入 4 ヶ所）

b ひとり暮らし高齢者を囲む会

地区内のひとり暮らし高齢者と地域ボランティアが集り、会食・レクリエーションなどふれあいを通して、交流が行われました。

実施地区：16 地区 1,687 人

(イ) 食事サービスボランティア代表者会議の開催

食事サービスボランティア代表者を対象に代表者会議を開催しました。またボランティアの食品衛生管理の徹底を目的に食中毒に関するチラシを配布し啓発をしました。

【代表者会議】

開催日：2月18日(火) 開催場所：総合福社会館 内容：情報提供、情報交換

カ 生活支援体制整備事業（市受託事業）

介護保険法に基づき生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備の充実を図りました。

(ア) 支え合いの会の支援

- a 市内で活動する生活支援団体等の把握、連携に努めました。(7回)
- b 地域で支え合う仕組みづくりを推進する活動・会議・研修等への参加(61回)
- c 岐阜県生活支援活動団体情報交換会へ参加しました。(6団体11人)

(イ) 生活支援の担い手の養成、サービス開発等の資源開発、マッチング

マックスバリュ東海が実施を予定する移動販売の取り組みに対し、地域包括支援センターとともに、ニーズ調査等について協力しました。(7月から4ルートで運行を開始し、現在は市内全域を6ルートで運行。)

(ウ) 多職種・他団体との連携

情報発信及び顔の見える関係づくりのため、各地域包括支援センターエリア会議等へ参加しました。(19回)

(2) 「居場所づくり」の支援

ア ふれあい・いきいきサロン活動の支援

(ア) 20地区社協主催「ふれあい・いきいきサロン」の設置、運営の推進

高齢者が気軽に集まり、楽しく過ごせる場所をつくることを目的に20地区社協を基盤として、各自治会にて実施されました。(助成対象サロン数：223ヶ所)

《サロンの開催状況》

地区名	自治会数	実施自治会数	サロン数	地区名	自治会数	実施自治会数	サロン数
興文	54	6	5	江東	19	13	12
東	28	14	8	川並	10	10	8
西	29	20	18	中川	19	18	18
南	28	10	7	和合	8	7	7
北	55	31	17	三城	37	21	8
日新	16	14	13	荒崎	12	12	9
安井	21	11	9	赤坂	22	20	15
宇留生	26	26	6	青墓	13	13	13
静里	14	14	14	上石津	40	29	21
綾里	15	14	6	墨俣	22	21	9
				合計	488	324	223

(イ) ふれあい・いきいきサロン活動推進研修会の開催

地区社協ごとにサロン研修会、交流会の開催を支援しました。

(研修、交流内容：各いきいきサロンの活動報告、貸出備品体験、情報交換等)

西：5月8日(水) 日新：4月29日(月) 安井：4月10日(水)

静里：6月29日(土)・3月15日(土) 綾里：4月13日(土)

荒崎：4月21日(日) 墨俣：6月18日(火)

(ウ) 買い物支援事業

高齢者の生活課題（買い物支援）の解決のため、綾里、青墓、上石津の3地区にて実施しました。

(綾里地区)

実施自治会数：1自治会

利用登録者数：12人

支援実績：運行回数…22回、延べ利用人数…164人

(青墓地区)

実施自治会数：4自治会

利用登録者数：41人

支援実績：運行回数…18回、延べ利用人数…126人

(上石津地区)

実施自治会数：4自治会

利用登録者数：38人

支援実績：運行回数…43回、延べ利用人数…173人

イ お散歩カフェの支援

地区社協で実施される、地域住民が気軽に集まり相談のできる場「お散歩カフェ」の活動を支援しました。(3地区)

「おしゃべり広場東」(東地区) 毎週第1・3土曜日 東地区センター

開催日：24日 延べ利用者数：566人

「うるおい」(宇留生地区) 毎月第3土曜日 宇留生地区センター修明館

開催日：9日 延べ利用者数：200人

「あやの」(綾里地区) 毎週水曜日 綾野公民館・綾里地区センター

開催日：47日 延べ利用者数：733人

(3) 地域福祉の担い手づくり、担い手支援

ア 福祉推進委員の設置と活動支援

地域福祉活動の向上を目的に福祉推進委員を各自治会単位に設置しました。488自治会からの推薦により、879人を委嘱しました。自治会内50世帯に1人の設置を推進しました。

《地区別福祉推進委員数(任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日)》

地区名	自治会数	推進委員数	地区名	自治会数	推進委員数
興 文	54	63	江 東	19	37
東	28	39	川 並	10	22
西	29	64	中 川	19	69
南	28	33	和 合	8	22
北	55	92	三 城	37	48
日 新	16	33	荒 崎	12	33
安 井	21	34	赤 坂	22	49
宇留生	26	48	青 墓	13	41
静 里	14	43	上石津	40	50
綾 里	15	27	墨 俣	22	32
			合 計	488	879

(ア) 福祉推進委員連絡会の開催

各地区代表者との連絡調整、活動の情報交換を行いました。

第1回：6月6日(木) 総合福祉会館

第2回：2月6日(木) 総合福祉会館

(イ) 各地区福祉推進委員研修会の支援

市内全地区で福祉推進委員制度と福祉推進委員の役割、生活支援活動、あんしん見守りネットワーク事業などについて、地区ごとに自治会長、民生児童委員、福祉推進委員などが集り、研修会の開催を支援しました。

《各地区の開催状況》

地区名	開 催 日	地区名	開 催 日	地区名	開 催 日
興文	7月27日(土)	綾里	4月13日(土)	赤坂	7月10日(水)
	9月30日(月)		6月1日(土)		2月19日(水)
東	1月24日(金)		3月18日(火)	青墓	6月14日(金)
西	5月8日(水)	江東	7月14日(月)		2月14日(金)
	11月16日(土)	川並	2月22日(土)	上石津	7月19日(金)
南	7月1日(月)	中川	4月20日(土)		1月29日(水)
	11月8日(月)		5月18日(土)		多良地区
北	8月4日(日)		10月5日(土)		2月28日(金)
	2月8日(日)		4月13日(土)		時地区
日新	4月29日(月)	和合	6月8日(土)		3月17日(月)
安井	4月10日(水)		2月15日(土)		牧田・一之瀬地区
	6月22日(月)	三城	4月27日(土)	墨俣	6月18日(火)
	2月16日(日)		11月17日(土)		
宇留生	5月25日(土)		1月18日(土)		
静里	6月29日(土)	荒崎	4月21日(日)		
	7月17日(水)		7月17日(水)		
	3月15日(土)		2月19日(水)		

(ウ) 福祉推進委員向けの情報誌「ねっとわーく！」の作成（発行月：6・2月）

(4) 地区社協活動の充実（新時代に対応する地区社協活動の充実と変革）

ア 地区社協活動の支援（地区社協メニュー事業の実施）

(ア) 地区社協活動推進に対する相談支援

地区担当職員が地域活動への相談支援を行いました。

《地区担当職員相談支援数（地区社協事業、見守り、サロン、食事サービス、研修会等）》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件	152	125	112	104	50	149	112	110	102	99	103	118	1,336

(イ) 「地区社協推進活動に対する助成要綱」に基づく事業への支援

助成要綱に基づき、地区社協事業への支援を行いました（地区社会福祉大会・住民運動会・三世代交流事業等）。

一般会費からの助成事業		共同募金、歳末募金からの助成事業	
助成事業名	助成金額	助成事業名	助成金額
事業活動補助金	10,954,360 円	歳末友愛訪問事業	2,042,250 円
福祉推進委員研修会	199,700 円	高齢者を囲む会	843,500 円
地域防災力向上推進事業	600,000 円	ふれあいいきいきサロン	2,230,000 円

(ウ) 地区社協活動計画の評価と進捗状況の把握

20 地区社協で作成された地区社協活動計画に基づき、展開されている事業の評価をもとに進捗状況を把握し、事業実施の支援をしました。

(エ) 第3次地区社協活動計画の策定の推進・支援

各地区における第3次地区社協活動計画策定を推進・支援をしました。

宇留生地区・中川地区

イ 地区社協連絡会の開催

(ア) 各地区代表者との連絡調整を図るため、地区社協連絡会を開催しました。

第1回：5月31日(金)

大垣市役所

第2回：1月31日(金)

大垣市役所

(イ) 地区社協活動等について協議する場を設置するため、連絡会の体制を見直しました。

ウ 地区社協のてびき等の作成

地区社協活動の周知・活性化のため「みんなでいいまちつくろうよ 地区社協活動のてびき・社協活動のあらまし」を作成しました。また、活動の幅を広げるため、てびき等のデジタル版を作成しました。

エ 地域防災力向上推進事業

地区社協及び地区防災士会と連携した要援護者避難支援を含む避難訓練や防災意識向上のための訓練、知識を深める研修会等を実施し、地域防災力向上の推進を図りました。また、大垣市地区防災士連絡会を開催し、各地区代表者との連絡調整を図りました。

第1回：6月27日(木) 総合福祉会館

第2回：3月18日(火) 総合福祉会館

(5) つなげる専門職コミュニティソーシャルワーカーの確立

(必ずつながる相談支援体制の確立)

「大垣社協コミュニティソーシャルワーカー(CSW)研究会を事務局内に設置し、コミュニティソーシャルワーカーの在り方や業務の検討をしました(月2回)。また、住民向けのチラシを作成し、研修会等で啓発しました。

※コミュニティソーシャルワーカーとは

大垣版コミュニティソーシャルワーカーは以下のような機能・役割を担うことを想定しています。

- a 地区の状況や個別ニーズを把握分析し、地域課題を明確にする機能
- b 地域住民による地域福祉課題の解決を支援する機能
- c 制度の狭間にある相談を受け止め、支援する機能
- d 包括的な相談支援体制を築くため紡ぎ役として機能

3 事業運営部会事業

(1) 包括的相談体制(必ずつながる相談支援体制)の推進

ア 地域包括支援センター事業(市受託)

社会福祉士、保健師等、主任介護支援専門員の 3 職種を配置し、市から受託した中央、西、東・墨俣、上石津エリアを対象に高齢者を支える総合相談窓口として、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に進めました。

【担当エリア】

エリア名	地区名	設置場所
中央地区	興文・東・西・南	総合福祉会館
西地区	南杭瀬・日新・静里・綾里・荒崎	
東・墨俣地区	和合・三城・墨俣	在宅福祉サービスステーション
上石津地区	上石津	上石津老人福祉センター

(ア) 総合相談・支援業務の実施

a 総合相談の実施

地域住民からの様々な相談を受けて個別訪問等を行い、どのような支援が必要かを握し対応しました。

【相談件数:6,014件】

【相談内容:介護保険、認知症、福祉サービス、医療・保健、家族関係など】

エリア名	総合相談	高齢者虐待	成年後見	消費者被害	ケアマネジャー
中央地区	1,706	19	22	0	147
西地区	1,753	38	10	1	286
東・墨俣地区	1,556	57	29	4	74
上石津地区	999	7	1	2	254
合 計	6,014	121	62	7	761

b 地域ケア会議の開催

地域の関係者や多機関・多職種の専門職により、個別課題の解決、ネットワーク強化、地域課題の発見や地域づくりにつなげる取り組みを進めました。

元気にしよう会議 【開催回数:16 回】

拡大エリア会議 【開催回数:11 回】

地域ケア個別会議 【開催回数:13 回】

(イ) 高齢者等の虐待防止・早期発見・権利擁護事業の実施

a 高齢者虐待・消費者被害への対応

高齢者虐待、消費者被害の相談を受けて、個別訪問等を行いどのような支援が必要かを把握し、必要に応じて他機関との連携を行いました。

【相談対応件数:延べ 190 件】

(高齢者虐待 121件、成年後見 62件、消費者被害 7 件)

b 地域の民協やサロンに出向き、高齢者虐待、消費者被害を予防する情報発信を行いました。【地域活動参加件数:290件】

(ア) 包括的・継続的ケアマネジメント業務の実施

- a ケアマネジャーからの個別相談(介護保険、認知症、福祉サービス、生活困窮、家族関係医療・保健など)を受けて指導・助言を行いました。

【ケアマネジャー相談件数:延べ 761件】

- b 大垣市ケアマネジメント Step Up 協働事業

スーパービジョンの手法を用いて、ケアマネジメントのステップアップを図ることを目的に実施しました。

【実施事業所:7 か所】

- c 大垣市主任ケアマネジャーの会

市内の主任ケアマネジャーがリーダーとして、包括的・継続的ケアマネジメント体制づくりのための連携・研修を実施しました。

対象者 46事業所 主任ケアマネジャー 76人

第1回 9月4日(水) 参加者 81人

内 容 ヤングケアラー当事者の人生から考える支援のあり方

第2回 10月17日(木) 参加者 30人

内 容 スーパービジョン演習～実践してみよう～

第3回 3月13日(木) 参加者 81人

内 容 パーキンソン病・パーキンソン症候群の利用者への支援

- d 大垣市介護サービス事業者連絡会との連携

事務局として会務の運営を担いました。

役 員 会 偶数月の第3水曜日

定例研修会 奇数月に1回

第1回 7月17日(水) 参加者 75人

内 容 「業務継続計画(BCP)の運用について」

第2回 9月18日(水) 参加者 131人

内 容 「大垣市高齢者虐待防止研修会」

第3回 11月20日(水) 参加者 74人

内 容 「介護現場での生産性向上と職場の人間関係づくり」

第4回 1月15日(水) 参加者 77人

内 容 「感染対策の基本」

臨 時 2月12日(水) 参加者 43人(Zoom)

内 容 「災害に備える！介護現場のための情報共有会」

第5回 3月19日(水) 参加者 129人

内 容 「おいしく食べるためにはじめよう オーラルフレイル予防」

- e 認知症サポーター養成講座の実施:4件

(ア) 介護予防ケアマネジメント事業(第1号介護予防支援事業)の実施

基本チェックリスト該当者、要支援と認定された方を対象に訪問型サービス、通所型サービス等必要な援助を行いました。

【給付管理数:3,664件】

(イ) 指定介護予防支援事業の実施

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用ができるよう指定介護予防支援を行いました。

【給付管理数:6,879 件】

区 分	直 営	委 託	合 計(新規)
介護予防マネジメント	581	1,940	2,521(68)
基本チェックリスト該当者	257	886	1,143(55)
介護予防支援	1,583	5,296	6,879(151)
合 計	2,421	8,122	10,543(274)

イ 認知症初期集中支援推進事業(市受託)

「認知症初期集中支援チーム」が認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮せるよう相談支援を行いました。また、予防を重視した認知症予防事業の充実を図りました。

【相談件数】 新規相談:98 件 継続:565 件

【相談者(新規相談)】※複数箇所からの依頼あり

本人・家族 20 件、地域包括支援センター 54 件、ケアマネジャー 17 件
医療機関 3 件、民生委員 1 件、介護サービス事業者 5 件、その他 3 件

【相談内容】 ※複数相談あり

専門医、医療機関受診に向けて 38 件
施設サービスや適切な介護サービス利用に向けて 24 件
認知症の重症度に応じた相談 77 件
その他 16 件

【チーム員会議】

開催頻度:毎月 1 回 (第 2 月曜日) オンライン会議

メンバー: 認知症サポート医、認知症地域支援推進員、アドバイザー(認知症看護認定看護師)オブザーバー(認知症疾患医療センター)、地域包括支援センター

新規チーム対応:28 件、継続チーム対応:392 件、終了・モニタリング:265 件

【認知症普及啓発】

- ・笑話歯動場 5 か所 128 人
- ・認知症サポーター養成講座開催 2 か所
大垣桜高等学校福祉科 1 年生 40 人
メゾン大垣東自治会 7 人
- ・地域包括支援センター全体会議、拡大エリア会議参加

【認知症予防事業】

- ・オレンジの泉 4 か所
奥の細道むすびの地記念館:毎月第 3 木曜日 延べ 746 人(新規 65 人)
江並団地:毎月第 4 水曜日 延べ 99 人(新規 7 人)
オレンジまめまめ会(上石津):毎月第 1 木曜日 延べ 187 人(新規 25 人)
川並地区センター:毎月第 4 金曜日 延べ 135 人(新規 33 人)
- ・各地域のサロン 10 カ所 141 人
- ・福祉ふれあいボランティアフェスティバル 60 人

ウ 在宅介護支援センター事業

地域支援事業における介護予防事業を実施し、在宅で生活する一般高齢者及び要援護状態になる恐れのある高齢者の状態の維持・回復の支援に努め、介護予防教室(はじめの一步)を開催しました。

【参加者数:延べ 856 人】

開催場所/開催回数	参加人数
大垣市老人福祉センター(午前)/月 1 回	303
大垣市総合福祉会館(午後)/月 1 回	294
上石津老人福祉センター/月 1 回	102
墨俣老人福祉センター/月 1 回	157
合 計	856

【内 容】 運動と血圧、ロコモティブシンドローム、骨粗鬆症予防、膝痛・腰痛予防ほか

エ 障がい者生活支援センター事業(市受託事業)

相談員1人を配置し、在宅で生活している障がい者に対して、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活を高めるための相談支援及び情報提供を行いました。また、障がい者の社会参加を促進するための事業を実施しました。

【相談支援内容 相談件数:1, 647件】

内 容	福祉サービスの利用	家計・経済	社会参加・余暇活動	健康・医療	障がい・症状の理解	不安解消・情緒安定	生活技術
件 数	551	210	194	146	105	98	89
うちピアカン	147	0	156	1	1	57	7
内 容	権利擁護	就労に関すること	家族関係・人間関係	保育・教育	その他	合 計	
件 数	70	55	43	3	83	1,647	
うちピアカン	0	4	9	0	2	384	

(ア) ピアカウンセラーの配置

(肢体 6 人(手話 1 人)、視覚 1 人、聴覚 1 人、内部 1 人)

【相談件数】 ピアカウンセラー384 件

(イ) 講習会(手話、点訳、音訳)の開催

	開催時期	回数	人数	修了生
点訳講習会	令和6年 6 月～令和7年 1 月	29 回	2人	1人
音訳講習会	令和6年 6 月～令和6年 9 月	15 回	5人	5人
手話奉仕員養成講座	令和6年 4 月～令和7年 3 月	46 回	20 人	17人

(ウ) 教室(グラウンドゴルフ等)の開催

	開催場所	回数	人数
グラウンドゴルフ教室	総合体育館	22回	341人
フライングディスク教室	赤坂スポーツ公園	4 回	18人
車椅子ダンス	総合福祉会館	9回	84人

(エ) 障害者意思疎通支援事業

障がい者のコミュニケーション支援を行い、社会参加の促進を図りました。

・手話通訳者等派遣事業の実施

派遣回数:372 回 延べ時間数:840 時間 登録者数:68 人

・要約筆記者等派遣事業の実施

派遣回数:32 回 延べ時間数:128 時間 登録者数:9 人

オ 障がい者就労支援センター事業(市受託事業)

相談員 1 人を配置し、障がい者の社会参加と自立を促進させるため、「大垣市障がい者就労支援センター」において相談、職場や自宅への訪問等、障がい者の就労にかかる支援を行いました。

【相談件数】 新規相談件数:120 件

(身体 20 件、知的 14 件、精神 66 件、発達 4 件、高次脳機能 1 件、その他 15 件)

継続相談件数:425 件 支援延べ件数:2,077 件

【一般就労者数】 5 人

【福祉的就労者数】 25 人

カ 福祉サービス利用支援センター事業(県社協受託事業)

専門員 1 人を配置し、生活支援員や様々な関係機関と連携し、判断能力が不十分な方に対して福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービスを行いました。

利用者数:56 人 生活支援員数:3 人

【相談対応件数 1,564 件】

	初回面談 件数	新規契約 件数	解約 件数	その他 件数	相談援助 延件数
認知症高齢者	2	1	2	6	289
知的障害者等	5	2	2	1	468
精神障害者等	5	1	1	9	807
不明・その他	0	0	0	3	0
合 計	12	4	5	19	1,564

キ 生活支援相談センター事業(市受託事業)

生活困窮者自立支援法に基づき、生活にお困りの方に対して、専門的な知識、相談支援経験を有する主任相談支援員 1 人、相談支援員兼就労支援員 2 人を配置し、就労等の相談支援を行いました。

(ア) 相談実績

新規相談件数:228 件、プラン作成件数:74 件、就労支援対象者数:46 人

就労者数:14 人

(イ) 支援調整会議

計画に基づいた支援ができるよう支援調整会議メンバー(社会福祉課、ハローワーク、主任相談支援員、就労支援員兼相談支援員)で毎月 1 回、支援計画の確認や評価を実施しました。

プラン確認件数:74 件、評価件数:73 件

(ウ) 庁内連携会議

円滑な相談支援を行うことを目的に市役所庁内の関係課と情報交換を行いました。

a ひきこもり支援チームプロジェクト会議への参加（8回）

内 容：ひきこもり支援に関する勉強会、情報交換、検討会

b ひきこもり支援個別相談会

本人、家族を対象としたひきこもりに関する個別相談会に参加しました。（3回）

(エ) 啓発活動

生活困窮者自立支援事業の理解とセンターのPRのため、地域などで行われる各種会議等で事業の説明、センターの機能の周知を行いました。

(オ) 居場所づくり支援事業

生きづらさを抱える相談者の支援として設置された居場所「い～ばしょ」・まちライブラリー「カワノホトリ」を、相談の場、就労支援の場として活用しました。

月1回定期開催。随時利用。延べ利用回数：133回

ク 「みんなで支え合いバンク」事業

生活にお困りの方に対して、個人や企業から提供いただいたインスタント食品等を活用し、食料支援、相談支援を行いました。

（新規利用者：108人、継続利用者：188人、総利用者：296人、支援回数：475回）

ケ 生活福祉資金貸付事業（実施主体：県社協）

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行いました。

	相談実件数	貸付件数	貸付金額
総合支援資金	4 件	0 件	0 円
福 祉 資 金	66 件	3 件	1,062,000 円
緊急小口資金	182 件	19 件	1,393,000 円
教育支援資金	9 件	2 件	280,000 円
合 計	261 件	24 件	2,735,000 円

コ 移動支援事業（外出支援サービス）（市受託）

上石津地区において、要支援または要介護と認定された 60 歳以上の在宅の高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方に対し、移送専用車輛により指定の医療機関への送迎サービスを実施しました。利用者数：延べ86人、利用回数：延べ 86回

(2) 多様な担い手による地域福祉活動の推進

ア 大垣市社会福祉法人連携協議会による公益的な取り組みの充実

市内の社会福祉法人が地域貢献を目的として設立した「大垣市社会福祉法人連携協議会」の事務局を担い、地域福祉の推進を図りました。（24法人加盟）

法人間の情報共有連携を目的とした研修・交流会を実施しました。

また、加盟法人に呼びかけ、生活困窮者支援に関する事業（フードサポートボックス）や、ひとり親世帯（児童扶養手当受給世帯）に対し、食料品を無料で提供するフードパントリーを設置しました。

○総会・研修会 7月9日(火)

○交流研修会 1月17日(金)

海津市社会福祉法人連絡会

海津市子ども未来館 ZuTTTo(ずっと)

○フードサポートボックス事業

協力法人:8月⇒3法人 食料寄付数:176個

○フードパントリー設置事業 12月21日(土)

協力法人:11月⇒5法人 食料寄付数:719個

また、母子父子家庭を対象に食料品を購入し、配布しました。

イ 福祉団体等の活動支援

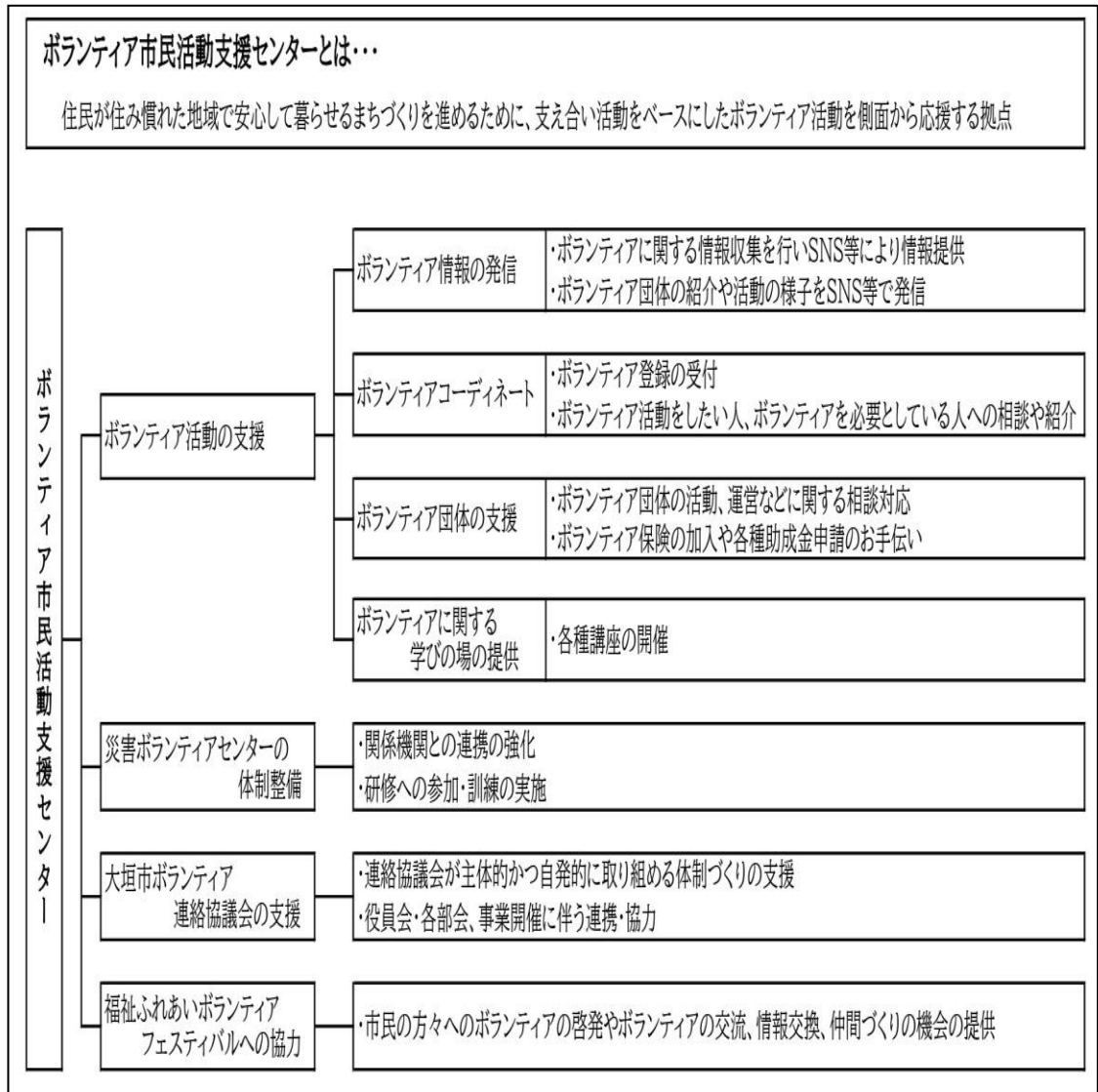
民生児童委員協議会(三部会研修等)、保護司会(社会を明るくする運動等)、かがやきクラブ大垣(高齢者福祉大会)、身体障害者大垣支部(敬老会、歳末重度障がい者訪問活動)、大垣市手をつなぐ親の会(特別支援学級卒業生の激励訪問)、大垣市母子父子寡婦福祉連合会(中卒者激励訪問)、介護者の会(例会月1回、会員14名)への活動支援を行いました。

4 ボランティア部会事業

(1) ボランティア市民活動支援センターの充実(ボランティア・市民活動の力で地域を支える)

ア ボランティア市民活動支援センターの役割と機能の明確化

ボランティア市民活動支援センターの充実を図るため、役割と機能を明確化し、次のように整理しました。



(ア) ボランティア活動の支援

《支援件数》

ブログ掲載	情報誌発行	コーディネート件数	相談対応件数
28	3	68	96

《ボランティア登録数》

	令和 6 年度	令和 5 年度	(コロナ禍前) 令和元年度
団体	137 団体	130 団体	172 団体
個人	45 人	37 人	44 人

(イ) 災害ボランティアセンターの体制整備

《関係機関との連携の強化》

日 付	内 容
8 月 5 日 (月)	災害ボラの受入に係る市町村と市町村社協等の意見交換会
9 月 1 日 (日)	台風 10 号に伴う水害被害ボランティア派遣打合せ (大垣市・市社協)
11 月 21 日 (木)	「西美濃防災連絡協議会」(大垣青年会議所主催)
2 月 28 日 (金)	大垣市災害ボランティア連携会議 (大垣市主催)
3 月 8 日 (土)	NISHIMINO 防災フェスタ参加協力 (大垣青年会議所主催)
3 月 26 日 (水)	災害協定式 (大垣市・ライオンズクラブ国際協会・市社協)

《研修への参加・訓練の実施》

日 付	内 容
4 月 23 日 (火)	「災害ボランティアセンター担当職員研修」 (県社協)
6 月 1 日 (土)	「可児市災害ボランティアセンター設置・運営訓練」(可児市)
6 月 25 日 (火)	「市町村社協被災者支援活動推進会議」 (県社協)
2 月 22 日 (土)	設置運営訓練(職員のみ)実施 参加者数：28 人 (市社協)

(ウ) 大垣市ボランティア連絡協議会の支援

《連絡協議会が主体的かつ自発的に取り組める体制づくりの支援》

《役員会・各部会、事業開催に伴う連携・協力》

会 議	
役員会	年間 12 回開催 (毎月第 1 木曜日)
6 部会	地域づくり部会：6 回 自立支援部会：5 回 施設支援部会：8 回 楽学部会：4 回 子育て支援部会：5 回 防災支援部会：4 回

日 付	連絡協議会 主催・協力事業
5 月 28 日 (火)	ボランティア連絡協議会 総会
10 月 26 日 (土) 27 日 (日)	福祉ふれあいボランティアフェスティバル
3 月 1 日 (土)	ボランティア交流会
日 付	連絡協議会 自主事業
3 月 1 日 (土)	ボランティアで生き生き楽しもう の運営支援

(エ) 福祉ふれあいボランティアフェスティバルへの協力

日 付	来場者数	協力内容
10 月 26 日 (土) 27 日 (日)	延べ 1,200 人	・ホールイベント(ボランティアの集い)の運営 ・スタンプラリーコーナーの運営 ・子どもわくわくコーナーの運営

(2) つながる ひろがる 福祉共育

ア みんなの福祉共育

地域のニーズや時代の流れに合わせて、子どもから大人まで幅広い世代の方々が福祉・ボランティアに興味を持ち楽しむことができる取り組みを実践し、共に育ち、支

え合える地域づくりにつながる講座を開催しました。

(ア) こどもの学校

夏休み中に学習支援等を通じた子どもの居場所づくりを行い、併せてボランティア活動に興味・関心をもってもらうきっかけづくりを目的に開催しました。

開催日	内 容	参加人数
8月8日(木)	AM:学習の時間 PM:バルーンアートを学ぼう! (協力:大垣市レクリエーション協会)	14人
8月23日(金)	AM:楽しく学ぼう!理科実験工作! (協力:西濃理科クラブ) PM:かわなみ作業所で体験 ・施設見学と夏まつりのお手伝い ・バルーンアート披露と交流 ※講座支援ボランティア:高校生1人・大学生1人	14人

(イ) おとなの学校① 子どもの居場所サポーター講座

家庭と学校以外で、子どもが安心して過ごせる「第三の居場所」として学習支援・居場所づくりについて考える機会と、子どもを取り巻く環境の現状を知り、携わることのできる人材育成を目的に開催しました。

開催日	内 容	参加人数
7月24日(水)	講義「子どもの居場所応援センターについて」 ・子どもの居場所が期待される理由 ・居場所実践者の声 等 (講師:県社協 子どもの居場所応援センター) 活動発表① みち草会 活動発表② あしたの支援室	5人
8月24日(土)	体験 あしたの支援室	6人

(ウ) おとなの学校② 福祉共育サポーター講座

地域・学校・社協が一体となって学ぶ福祉共育について学び、本会職員と一緒に学校などに出向き、地域とのつながりの大切さを再確認しながら、子どもたちの「福祉の心」を育むお手伝いをしてもらうことを目的に開催しました。

開催日	内 容	参加人数
11月5日(火)	講義①「福祉共育・子ども福祉委員について」 (講師:岐阜県社会福祉協議会) 講義②「福祉用具と車椅子の操作方法について」 (講師:株式会社ワカミヤ商会)	5人
11月12日(火)	綾里小学校6年生の福祉学習にて 講義「お仕事紹介&車椅子の操作・介助方法説明」 (講師:株式会社ワカミヤ商会) (サポート:講座受講生) 車椅子体験 ・校内だけでなく、学校周辺も体験 ・ポイントで児童へ声かけ(受講生)	5人

(エ) おとなの学校③ コーヒーの淹れ方講座

余暇時間の充実や仲間づくり、つながりづくりとともに、「コーヒーボランティア」として社会参加のきっかけづくりを目的に開催しました。

開催日	内 容	参加人数
10月23日(水)	講座「コーヒーの淹れ方講座」 (講師：自家焙煎珈琲 長崎屋)	5人
10月26日(土)	福祉ふれあいボランティアフェスティバルに参加 コーヒーコーナーにてコーヒーの提供のボランティア	5人

イ 学校と福祉共育

(ア) 福祉協力校支援事業

- a 社会福祉への理解と関心を深めるため、市内の保育園・認定こども園・幼保園・幼稚園・小・中・義務教育学校・高等学校等を福祉協力園・福祉協力校に指定し、積極的活動への促進を図りました。

≪福祉協力園・協力校指定数≫

保育園	認定こども園	幼保園	幼稚園
17	7	7	6
小学校	中学校	義務教育学校	高等学校
18	9	1	10

- b 福祉学習への講師派遣、協力、高齢者疑似体験グッズ等の貸し出しを行いました。

講師派遣・協力件数	30	グッズ貸出件数	13
-----------	----	---------	----

- c 福祉共育への理解と、情報共有を図るため、各学校の担当教諭を対象に、福祉協力校連絡会を開催しました。

開催日	内 容	参加校
2月25日(火)	福祉学習プログラム紹介・福祉共育事例発表	10校

(イ) 福祉共育事業（子ども福祉委員事業）

福祉に関心がある学校をモデル校とし、子ども福祉委員として年間を通じて福祉共育の取り組みを実施しました。（大垣市立綾里小学校6年生）

日 付	内 容
5月14日(火)	オリエンテーション
6月5日(水)	高齢者についての学習・ボランティアについての学習
6月26日(水)	綾里地区福祉活動についての学習・障がい者福祉についての学習
7月17日(水)	お散歩カフェあやのを訪問
9月13日(金)	就労支援事業所について
11月8日(金)	ポッチャ体験
11月11日(月)	高齢者疑似体験
11月12日(火)	車いす体験
11月13日(水)	施設訪問(ぐっとらんど)
1月14日(火)	デイサービス綾郷訪問
2月5日(水)	ハッピープロジェクト発表会&感謝の会

(ウ) 高校生歳末清掃活動

高校生ボランティアによる、ひとり暮らし高齢者宅への歳末清掃活動を実施しました。

日 付	内 容
12月26日(木)	ボランティア数：36人 訪問先：14件

(エ) 子どもの意見を聞く会

市内小学校の子どもたちが、社会福祉について日ごろ考えていることや実践していることを発表しました。

日 付	内 容
2月1日(土)	関係者・地域住民聴講者数：150人 発表校 ①興文小学校 ②西小学校 ③北小学校 ④安井小学校 ⑤静里小学校 ⑥江東小学校 ⑦中川小学校 ⑧荒崎小学校 ⑨青墓小学校

(3) 子育て応援事業（未来を生きる子どもたちの“今”を支える）

ア 母子・父子家庭を対象に食の支援を実施しました。

実施日	内 容	受渡数
9月7日(土)	お弁当プレゼント	262世帯・713個
12月21日(土)	Xmasお菓子・食料品プレゼント	259世帯・441個

イ 子どもの貧困に寄り添う支援、子どもの居場所づくりを支える取り組みとして、子育て世帯の相談対応や食料等支援を通じた子どもの成長への支援を必要に応じ実施しました。

目 的	食事の確保、食費以外の生活費の捻出、孤立回避など
備蓄品	ミルク・紙おむつ・食料品等
支援回数	延べ37回